

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報											整理番号	080									
事務事業名	議会運営経費						補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	01	項	01	目	01	事業	03
担当部	担当課		議会事務局		担当係		会議 係														
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: JOSO RE-FRESH PLAN)										根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 地方自治法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: ) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市議会における政務活動費の交付に関する条例, 常総市議会における政務活動費の交付に関する規則)									

2 事務事業の目的											当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどのようなか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。																					
現状課題	「議会の見える化」のため、現在、本会議の様子をインターネット中継しているが、さらなる開かれた議会を目指す上で、付託議案等の審査を行う常任委員会・予算・決算特別委員会も同様に配信していくことが望ましい。しかしながら、初期投資、年間維持費に多額の経費が必要なことから、先進事例を参考に調査・研究をしていかなければならない。										誰・何を対象に	市民等に本会議の情報(映像・文字)を提供及び交際費を公表。										望ましい状態	開かれた市議会が展開されることで、市民の市議会への関心が高まり、市の現状や施策への理解を深めてもらえるだけでなく、市民と市議会がより身近な存在となることで、積極的な意見、要望等に反映され、又市民の監査機能の強化も期待される。これが進むと市民協働のまちづくり、市議会の効果的な運営の好循環となる。									
どのような方法・手順で	本会議会議録や議会映像(ライブ中継、録画映像【5年間保存】を市ホームページからシステムへアクセスする事により閲覧、視聴を可能としている。会議録(冊子)及び別事務事業で対応している議会だよりは、議会事務局図書室及び市民が利用する公共施設(図書館、地域交流センター等)に所蔵し誰もが閲覧可能な環境としている。																															

3 事務事業の主たる成果指標											数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく具体的に記入してください。										
指標名	会議録・議会映像アクセス件数		単位	件	目標値	18,000	目標年次	33	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)		本会議の会議録検索、及び映像(ライブ中継、録画映像)を配信しており、議案審議や一般質問に対する市民の関心の度合いを計る指標として、各システムへのアクセス件数を掲げた。									

4 事務事業の実績 ①											当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。										
年度	平成28年度						平成29年度						平成30年度								
	業務名						業務名						業務名								
	活動量						活動量						活動量								
	① 本会議会議日数						① 本会議会議日数						① 本会議会議日数								
	② 随時会議会議日数						② 随時会議会議日数						② 随時会議会議日数								
	③ 本会議傍聴者数						③ 本会議傍聴者数						③ 本会議傍聴者数								
	④ 随時会議傍聴者数						④ 随時会議傍聴者数						④ 議長交際費件数								
	⑤ 議長交際費件数						⑤ 議長交際費件数						⑤ 議員表彰人数								
	⑥ 議員表彰人数						⑥ 議員表彰人数						⑥ 議会システム管理等委託数								
	⑦ 会議録・議会映像配信委託件数						⑦ 会議録・議会映像配信委託件数						⑦ 先進地視察研修件数								
	⑧ 会議録検索システム機器借上件数						⑧ 会議録検索システム機器借上件数						⑧ 常任・特別委員会開催日数								
	⑨ 先進地視察研修件数						⑨ 先進地視察研修件数						⑨ 議会運営委員会開催日数								
⑩						⑩						⑩									
⑪						⑪						⑪									
⑫						⑫						⑫									
目標値に対する実績値						目標値に対する実績値						目標値に対する実績値									
11,468 件						13,964 件						12,573 件									
決算額	計		5,980,599 円	内訳	特定財源		円	計	5,485,184 円	内訳	特定財源		円	計	6,168,150 円	内訳	特定財源		円		
				一般財源	5,980,599 円		円		一般財源	5,485,184 円		円		一般財源	6,168,150 円		円				
	(住民一人あたりの行政コスト)			98 円	(住民一人あたりの行政コスト)			91 円	(住民一人あたりの行政コスト)			103 円									

5 担当者評価 ③											実施したことによる成果や問題点を記入してください。										
成果	ほぼ目標どおり										成果内容	開かれた市議会を基本とし、議会映像配信(ライブ中継・録画配信)及びホームページ上での会議録や審議結果の開示等の情報発信をしており、アクセス件数も着実に伸びている。また、紙ベースでの議会だよりも年4回発刊しており、市議会運営を広く市民に周知している。									
問題点												さらなる開かれた議会、市民参加を推進する議会を目指す上で、議会改革・活性化に向けた取り組みを行う必要がある。しかしながら、議会改革を進めるためには、議会の最高規範である『議会基本条例』の制定が必要と考え、今後の議会運営のあり方や市民から信頼される議会となるための検討を進めていかなければならない。									

6 担当部長及び担当課長評価 ③											担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。										
事務事業の方向性											<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止										
評価理由											議会運営経費における主要な事務事業は、会議録の作成・配信及び本会議の映像配信で、指標の数値も確実に上がっていることから、今後も現行の取り組みを進めるべきである。一方、一層開かれた議会を目指す上では、議会基本条例の制定及びこれに基づく様々な改革も必要であり、議員の政務活動の活発化にもつながるペーパーレス会議システムもその方策として早期に導入すべきことから「拡充」の評価とする。										

7 実施計画 ②											今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																			
年度	令和元年度						令和2年度						令和3年度																	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本会議会議日数(25日予定)</li> <li>●随時会議会議日数(3日予定)</li> <li>●常任・特別委員会開催日数(30日予定)</li> <li>●議会運営委員会開催日数(10日予定)</li> <li>●本会議傍聴者数(700人予定)</li> <li>●随時会議傍聴者数(70人予定)</li> <li>●議長交際費件数(40件予定)</li> <li>●各種行事議長賞件数(賞状のみ20件予定)</li> <li>●議員表彰人数(6人予定)</li> <li>●市議会等システム等業務委託件数(1件予定)</li> <li>●先進地視察研修件数(5委員会予定)</li> </ul>										<ul style="list-style-type: none"> <li>●本会議会議日数(25日予定)</li> <li>●随時会議会議日数(2日予定)</li> <li>●常任・特別委員会開催日数(30日予定)</li> <li>●議会運営委員会開催日数(10日予定)</li> <li>●本会議傍聴者数(700人予定)</li> <li>●随時会議傍聴者数(50人予定)</li> <li>●議長交際費件数(40件予定)</li> <li>●各種行事議長賞件数(賞状のみ20件予定)</li> <li>●議員表彰人数(4人予定)</li> <li>●市議会等システム等業務委託件数(1件予定)</li> <li>●先進地視察研修件数(5委員会予定)</li> </ul>										<ul style="list-style-type: none"> <li>●本会議会議日数(25日予定)</li> <li>●随時会議会議日数(2日予定)</li> <li>●常任・特別委員会開催日数(30日予定)</li> <li>●議会運営委員会開催日数(10日予定)</li> <li>●本会議傍聴者数(700人予定)</li> <li>●随時会議傍聴者数(50人予定)</li> <li>●議長交際費件数(40件予定)</li> <li>●各種行事議長賞件数(賞状のみ20件予定)</li> <li>●議員表彰人数(5人予定)</li> <li>●市議会等システム等業務委託件数(1件予定)</li> <li>●先進地視察研修件数(5委員会予定)</li> <li>●ペーパーレス会議システム等業務委託件数(2件)</li> </ul>									

8 財務アドバイザーの見解										
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。										

9 行政改革懇談会(市民)の意見										
事務事業の方向性は「現行どおり」でよいと考えられるため、担当部長及び担当課長評価を再考していただきたい。議会の見える化は必要だが、費用対効果も考慮し、印刷を白黒にするなど節約してほしい。また、ペーパーレス会議は議会では馴染まないのではないか。インターネットによる開かれた議会の推進も重要だが、紙ベースの議会だよりも細部まで作りこんで欲しい。										

10 最終評価(行政改革推進本部) ③										
事務事業の方向性										
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止										
評価理由	議会の見える化を推進する上では、現在実施しているインターネット中継は有効であり継続すべきと判断する。議会だより作成は、広報委員会として常任委員会に位置づけられ、議員自らが編集していくことから、議員の主張に偏らない紙面づくりを心掛け、現状の議会だよりの充実を図る必要がある。そして、ペーパーレス化に伴うタブレット導入は、先進事例の調査・研究を継続し、その効果を明確にしたうえで協議していく必要がある。									

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ④											実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。										
事業内容	ペーパーレス会議システム導入については、議会運営委員会において導入に向けた協議を行っている。先進地視察等を行い、今年度末に導入の可否を決することに方向づけられたため、導入に向けた研修会を来年度以降に実施することとした。																				
成果指標	指標名	会議録・議会映像アクセス件数		単位	件	目標値	18,000	指標名	会議録・議会映像アクセス件数		単位	件	目標値	18,000	指標名	会議録・議会映像アクセス件数		単位	件	目標値	18,000
	歳出	計				7,085 千円	歳出	計				7,208 千円	歳出	計				9,065 千円			
予算額	特定財源						特定財源						特定財源				特定財源				
	一般財源				7,085 千円		一般財源				7,208 千円		一般財源				9,065 千円				
	計				7,085 千円		計				7,208 千円		計				9,065 千円				